

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R5年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R4年度比 収入増減額	対R4年度比 費用増減額	R4年度 収支率	R5年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	1	山形市役所(六角・荒砥)長井	山形市役所前	六角荒砥	道の駅川のみなと長井	<p><b>【取組内容及び実施時期】</b></p> <p>①利便性向上のためのダイヤの見直しおよび効率的運行のための減便</p> <p>②利用者が見やすい時刻表を作成し、配布することにより利用促進を図る。</p> <p>③交通系ICカード導入。(R4.5月)利用者への周知と普及活動を行う。</p> <p><b>【実施主体】</b> 山交バス(株)・長井市・白鷹町・南陽市・上山市・山形市</p> <p><b>【効果目標】</b> 増収率2%増</p>	<p>①ダイヤ改正でダイヤの変更と便数整理を実施(R5.4)</p> <p>②路線別時刻表を作成し主要ターミナル・管内のコミュニティセンター・バス車内に置いてPR告知を図った。</p> <p>③山形市内の小学校での乗り方教室を実施。社会福祉協議会と協力して地区住民への乗り方教室も実施した。また、地域イベントへ積極的に参加し、バスを身近に感じてもらえるような取り組みを行った。山形県と協力して多子世帯を対象に交通系ICカードを配布。山形市と協力してECO家電購入者に交通系ICカードを配布。</p> <p><b>【取組効果】</b> 収入前年比 139.6% 目標達成となった。</p>	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。</li> <li>・適正価格に見合うよう運賃改定を実施予定。</li> </ul>	9,318,315	▲ 1,278,096	36.19%	51.55%

[記載要領]

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R5年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R4年度比 収入増減額	対R4年度比 費用増減額	R4年度 収支率	R5年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	2	山交ビル(荒谷) 天童	山交ビルバスターミナル	荒谷	天童駅前	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①利用者増を目指した路線の見直しを行う。</p> <p>②利用者が見やすい時刻表を作成し、配布することにより利用促進を図る。</p> <p>③乗車率の低い天童市内の利用促進を図るためバス停周辺の地区において利用促進PRを実施する。</p> <p>④交通系ICカード導入。(R4.5月)利用者への周知と普及活動を行う。</p> <p>【実施主体】 山交バス(株)・山形市・天童市 【効果目標】 増収率2%増</p>	<p>①経路変更を実施し、利用者の少ないバス停を廃止し、また、住民の要望により経路上に新たなバス停を新設。(R5.4月、10月)</p> <p>②路線別時刻表を作成し沿線の病院、スーパー、高等学校を中心に配布しPR等を実施した。</p> <p>③天童市と運転免許返納者支援策を継続して実施。</p> <p>④山形市内の小学校での乗り方教室を実施。社会福祉協議会と協力して地区住民への乗り方教室も実施した。また、地域イベントへ積極的に参加し、バスを身近に感じてもらえるような取り組みを行った。山形県と協力して多子世帯を対象に交通系ICカードを配布。山形市と協力してECO家電購入者に交通系ICカードを配布。</p> <p>【取組効果】 収入前年比 95.4% 目標未達となった。</p>	<p>【今後の方向性】 ・交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。 ・適正価格に見合うよう運賃改定を実施予定。</p>	▲ 1,653,086	3,140,431	57.90%	52.54%

[記載要領]

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R5年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R4年度比 収入増減額	対R4年度比 費用増減額	R4年度 収支率	R5年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	3	県立中央病院(表蔵王・四ツ谷)高松葉山	県立中央病院	表蔵王口四谷	高松葉山温泉	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①山形市と上山市を結ぶ類似系統が多数存在するため、統廃合などにより効率的な運行を図る。</p> <p>②利用者が見やすい時刻表を作成し、配布することにより利用促進を図る。</p> <p>③交通系ICカード導入。(R4.5月)利用者への周知と普及活動を行う。</p> <p>【実施主体】 山交バス(株)・山形市・上山市</p> <p>【効果目標】 増収率2%増</p>	<p>①類似する系統の統廃合を実施し、煩雑さを軽減。また、病院の外来を考慮し、土日祝日の運行見直しを図った。</p> <p>②路線別時刻表を作成し沿線の病院、スーパー、高等学校を中心に配布しPR等を実施した。</p> <p>③山形市内の小学校での乗り方教室を実施。社会福祉協議会と協力して地区住民への乗り方教室も実施した。また、地域イベントへ積極的に参加し、バスを身近に感じてもらえるような取り組みを行った。山形県と協力して多子世帯を対象に交通系ICカードを配布。山形市と協力してECO家電購入者に交通系ICカードを配布。</p> <p>【取組効果】 収入前年比 67.5% 目標未達成となった。 ※R5.4より1系統を運休</p>	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。</li> <li>・適正価格に見合うよう運賃改定を実施予定。</li> </ul>	▲ 6,303,976	▲ 8,669,994	69.40%	67.92%

[記載要領]

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R5年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R4年度比 収入増減額	対R4年度比 費用増減額	R4年度 収支率	R5年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	4	山形(若葉町・南山形)高松葉山	千歳公園待合所	若葉町南山形	高松葉山温泉	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①イオン山形南店のバス停設置の要望がある為、経路変更を検討。</p> <p>②利用者が見やすい時刻表を作成し、配布することにより利用促進を図る。</p> <p>③交通系ICカード導入。(R4.5月)利用者への周知と普及活動を行う。</p> <p>【実施主体】 山交バス(株)・山形市・上山市</p> <p>【効果目標】 増収率2%増</p>	<p>①継続して検討していく。</p> <p>②路線別時刻表を作成し沿線の病院、スーパー、高等学校を中心に配布しPR等を実施した。</p> <p>③山形市内の小学校での乗り方教室を実施。社会福祉協議会と協力して地区住民への乗り方教室も実施した。また、地域イベントへ積極的に参加し、バスを身近に感じてもらえるような取り組みを行った。山形県と協力して多子世帯を対象に交通系ICカードを配布。山形市と協力してECO家電購入者に交通系ICカードを配布。</p> <p>【取組効果】 収入前年比 92.4% 目標未達成となった。</p>	<p>【今後の方向性】</p> <p>・交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。</p> <p>・適正価格に見合うよう運賃改定を実施予定。</p>	▲ 3,554,972	4,634,932	66.77%	57.91%

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R5年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R4年度比 収入増減額	対R4年度比 費用増減額	R4年度 収支率	R5年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	5	寒河江駅前 (松川・左沢) 宮宿	寒河江駅前	松川 左沢	朝日町 役場前	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①利便性向上のためのダイヤの見直しおよび効率的な運行のための日祝の減便を検討。</p> <p>②沿線沿いの学校に通う学生・住民のための施策を続け、利用拡大を図る。</p> <p>③交通系ICカード導入。(R4.5月)利用者への周知と普及活動を行う。</p> <p>【実施主体】 山交バス(株)・寒河江市・大江町・朝日町</p> <p>【効果目標】 増収率2%増</p>	<p>①ダイヤ改正でダイヤの変更と利用者の少ない日祝便の運行について見直しを図り便数整理を実施(R5.4)</p> <p>②路線別時刻表を作成し沿線の病院、スーパー、高等学校を中心に配布しPR等を実施した。</p> <p>③山形市内の小学校での乗り方教室を実施した。また、地域イベントへ積極的に参加し、バスを身近に感じてもらえるような取り組みを行った。山形県と協力して多子世帯を対象に交通系ICカードを配布。</p> <p>【取組効果】 収入前年比 92.3% 目標未達成となった。</p>	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。</li> <li>・適正価格に見合うよう運賃改定を実施予定。</li> </ul>	▲ 741,356	▲ 204,623	33.96%	31.57%

[記載要領]

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R5年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R4年度比 収入増減額	対R4年度比 費用増減額	R4年度 収支率	R5年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	6	寒河江駅前 ～ 谷地	寒河江駅前		河北病院	<p><b>【取組内容及び実施時期】</b></p> <p>①利便性向上のためのダイヤの見直しおよび効率的な運行のための日祝の減便を検討。</p> <p>②利用者が見やすい時刻表を作成し、配布することにより利用促進を図る。</p> <p>③交通系ICカード導入。(R4.5月)利用者への周知と普及活動を行う。</p> <p>④沿線沿いの学校に通う学生・住民のための施策を続け、利用拡大を図る。</p> <p><b>【実施主体】</b> 山交バス株・寒河江市・河北町</p> <p><b>【効果目標】</b> 増収率2%増</p>	<p>①ダイヤ改正でダイヤの変更と利用者の少ない日祝便の運行について見直しを図り便数整理を実施(R5.4)</p> <p>②路線別時刻表を作成し沿線の病院、スーパー、高等学校を中心に配布しPR等を実施した。</p> <p>③山形市内の小学校での乗り方教室を実施した。また、地域イベントへ積極的に参加し、バスを身近に感じてもらえるような取り組みを行った。山形県と協力して多子世帯を対象に交通系ICカードを配布。</p> <p><b>【取組効果】</b> 収入前年比 80.1% 目標未達成となった。</p>	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。</li> <li>・適正価格に見合うよう運賃改定を実施予定。</li> </ul>	▲ 2,501,265	▲ 1,441,059	41.70%	35.07%

[記載要領]

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R5年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R4年度比 収入増減額	対R4年度比 費用増減額	R4年度 収支率	R5年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	7	山交ビル～寒河江駅前	山交ビル	中山	寒河江駅前	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①利便性向上のためのダイヤの見直しおよび効率的な運行のための日祝の減便を検討。</p> <p>②利用者が見やすい時刻表を作成し、配布することにより利用促進を図る。</p> <p>③交通系ICカード導入(4.5)。利用者への周知と普及活動を行う。</p> <p>【実施主体】 山交バス(株)・山形市・中山町・寒河江市</p> <p>【効果目標】 増収率2%増</p>	<p>①ダイヤ改正でダイヤの変更と便数整理を実施(R5.4)</p> <p>②路線別時刻表を作成し沿線の病院、スーパー、高等学校を中心に配布しPR等を実施した。</p> <p>③山形市内の小学校での乗り方教室を実施。社会福祉協議会と協力して地区住民への乗り方教室も実施した。また、地域イベントへ積極的に参加し、バスを身近に感じてもらえるような取り組みを行った。山形県と協力して多子世帯を対象に交通系ICカードを配布。山形市と協力してECO家電購入者に交通系ICカードを配布。</p> <p>【取組効果】 収入前年比 101.7% 目標未達成となった。</p>	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。</li> <li>・適正価格に見合うよう運賃改定を実施予定。</li> </ul>	651,244	▲ 1,964,805	45.94%	47.89%

[記載要領]

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R5年度)

協議会等名	申請 番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R4年度比 収入増減額	対R4年度比 費用増減額	R4年度 収支率	R5年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域 公共交通活 性化協議会	8	天童～ 寒河江	天童南駅	天童駅前	寒河江 駅前	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>・寒河江市内及び天童市内の公立学校において当該 系統で通学している生徒を対象にアンケート調査を実施 する。 (天童市・寒河江市委託路線)</p> <p>【実施主体】 天童市</p>	<p>・計画に記載のアンケート調査を実施した。(R5.8) 調査内容を整理し、今後の運行に役立てていく。</p> <p>【取組効果】 収入前年比 108.2% 目標達成となった。</p>	<p>【今後の方向 性】</p> <p>・交通系IC カード利用拡 大のための 活動を行う。</p> <p>・適正価格に 見合うよう運 賃改定を実 施予定。</p>	550,655	1,412,564	33.91%	34.25%

[記載要領]

1. この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
2. 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
3. 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
4. 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
5. 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
6. 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。



事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R5年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R4年度比 収入増減額	対R4年度比 費用増減額	R4年度 収支率	R5年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	9	天童 (東根市役所) 北町	天童駅前	東根市 役所前	北町	<p><b>【取組内容及び実施時期】</b></p> <p>①沿線にある村山産業高校・楯岡特別支援学校のためのダイヤや便数について検討。</p> <p>②交通系ICカード導入。(R4.5)利用者への周知と普及活動を行う。</p> <p>③効率的な運行のための日祝便の減便を検討。</p> <p><b>【実施主体】</b> 山交バス(株)・天童市・東根市・村山市</p> <p><b>【効果目標】</b> 増収率2%増</p>	<p>①村山市を通じて村山産業高等学校から要望があり、新たに冬期通学ための新規系統を新設した。(R5.1月運行開始)</p> <p>②山形市内の小学校での乗り方教室を実施した。山形県と協力して多子世帯を対象に交通系ICカードを配布。</p> <p>③運行営業所と協議会を実施し、利用者の少ない日祝便の運行に関して利用状況を確認の上、減便を行った。</p> <p><b>【取組効果】</b> 収入前年比 121.3% 目標達成となった。</p>	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。</li> <li>・適正価格に見合うよう運賃改定を実施予定。</li> </ul>	1,944,694	▲ 1,969,953	31.20%	40.57%

[記載要領]

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R5年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R4年度比 収入増減額	対R4年度比 費用増減額	R4年度 収支率	R5年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	10	山交ビル (県立中央病院・高橋)天童温泉	山交ビル バスターミナル	県立中央病院・高橋	わくわくランド	<p><b>【取組内容及び実施時期】</b></p> <p>①運転免許センター・県立病院の特定ニーズのある路線のため、維持する方向で調整。経路についてイオン山形北店を経由した経路変更の話が出ている。</p> <p>②利用者が見やすい時刻表を作成し、配布することにより利用促進を図る。</p> <p>③交通系ICカード導入。(R4.5月)利用者への周知と普及活動を行う。</p> <p><b>【実施主体】</b> 山交バス(株)・山形市・天童市</p> <p><b>【効果目標】</b> 運行回数 3.0回維持 輸送量 乗車密度5.0人×3.0回=15.0人確保</p>	<p>①運行営業所や店舗、山形市と共に協議会を開き、時間帯ごとの利用状況の確認を行い、利用拡大、利便増進のための経路見直しについて意見交換を行った。免許センター及び病院を結ぶ貴重な路線の為、重点的に見直しを行っている。</p> <p>②路線別時刻表を作成し沿線の病院、スーパー、高等学校を中心に配布しPR等を実施した。</p> <p>③山形市内の小学校での乗り方教室を実施。社会福祉協議会と協力して地区住民への乗り方教室も実施した。また、地域イベントへ積極的に参加し、バスを身近に感じてもらえるような取り組みを行った。山形県と協力して多子世帯を対象に交通系ICカードを配布。山形市と協力してECO家電購入者に交通系ICカードを配布。</p> <p><b>【取組効果】</b> 運行回数 3.0回維持 目標達成となった。 輸送量 8.7人 未達成となった。</p>	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。</li> <li>・適正価格に見合うよう運賃改定を実施予定。</li> </ul>	640,949	833,240	44.79%	47.03%

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R5年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R4年度比 収入増減額	対R4年度比 費用増減額	R4年度 収支率	R5年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	11	山交ビル(漆山)天童温泉	山交ビルバスターミナル	漆山 長岡	わくわくランド	<p><b>【取組内容及び実施時期】</b></p> <p>①利用者にわかりやすくするために漆山経由、長岡経由を1本にまとめた場合のシミュレーションを実施。(利用ニーズの高いイオン天童を経由する便を増やす方向で検討中。)</p> <p>②利用者が見やすい時刻表を作成し、配布することにより利用促進を図る。</p> <p>③交通系ICカード導入。(R4.5月)利用者への周知と普及活動を行う。</p> <p>④経路についてイオン山形北店を経由した経路変更の話が出ている。</p> <p><b>【実施主体】</b> 山交バス(株)・山形市・天童市</p> <p><b>【効果目標】</b> 増収率2%増</p>	<p>①漆山経由、長岡経由を統廃合し、ニーズの高いイオン天童経由に統一(R5.4)</p> <p>②路線別時刻表を作成し沿線の病院、スーパー、高等学校を中心に配布しPR等を実施した。</p> <p>③山形市内の小学校での乗り方教室を実施。社会福祉協議会と協力して地区住民への乗り方教室も実施した。また、地域イベントへ積極的に参加し、バスを身近に感じてもらえるような取り組みを行った。山形県と協力して多子世帯を対象に交通系ICカードを配布。山形市と協力してECO家電購入者に交通系ICカードを配布。</p> <p>④継続して検討していく。</p> <p><b>【取組効果】</b> 収入前年比 94.2% 目標未達成となった。</p>	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。</li> <li>・適正価格に見合うよう運賃改定を実施予定。</li> </ul>	▲ 2,577,561	▲ 7,162,110	47.71%	48.69%

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名 山交バス株式会社・宮城交通株式会社

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R5年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R4年度比 収入増減額	対R4年度比 費用増減額	R4年度 収支率	R5年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	12	高速上山～仙台	高松葉山温泉		県庁市役所前	<p><b>【取組内容及び実施時期】</b></p> <p>①R5.12月に道の駅やまがた蔵王が新設されるため、利用者増を目指し経路変更を検討中。(R5.6)</p> <p>②利用促進のための施策を検討。</p> <p>③山交バスにてR4.5に交通系ICカード導入。利用者への周知と普及活動を行う。</p> <p>④収益改善を目指す施策を検討。</p> <p><b>【実施主体】</b> 山交バス(株)・宮城交通(株) <b>【効果目標】</b> 2社合算での増収。</p>	<p>①道の駅やまがた蔵王を経由するよう経路変更を実施予定。利用拡大のためにホームページ・マスコミ等を利用して告知・PRを行った。</p> <p>②仙台圏のお客様の取り込みを目的とした新たなバス商品ができないか検討している。</p> <p>③山形県と協力して多子世帯を対象に交通系ICカードを配布。山形市と協力してECO家電購入者に交通系ICカードを配布。</p> <p>④適正価格に見合う運賃改定を実施した(R5.10)</p> <p><b>【取組効果】</b> 収入前年比 117.4% 目標達成とみている。</p>	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。</li> <li>・適正価格に見合うよう運賃改定を実施予定。</li> </ul>	5,620,511	5,360,842	38.37%	48.79%

[記載要領]

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社・ジェイアールバス東北株式会社
------	-------------------------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R5年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R4年度比 収入増減額	対R4年度比 費用増減額	R4年度 収支率	R5年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	13	高速 米沢～仙台	米沢 市役所前		仙台駅 東口	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①利用促進のための施策を検討。</p> <p>②山交バスにてR4.5に交通系ICカード導入。利用者への周知と普及活動を行う。</p> <p>③収益改善を目指す施策を検討。</p> <p>【実施主体】 山交バス(株)・ジェイアールバス東北(株)</p> <p>【効果目標】 2社合算での増収</p>	<p>①観光客の利用増と利便性向上を目指し、「上杉神社」停留所を道路上から隣接する商業施設の敷地内に移動する予定。(R6.4月)また、2次交通としての米沢市内の小野川温泉、白布温泉行きの路線バスの再編を予定。(R6.4)</p> <p>②山形県と協力して多子世帯を対象に交通系ICカードを配布。</p> <p>③適正価格に見合う運賃改定を実施した(R5.10)</p> <p>【取組効果】 収入前年比 131.7% 目標達成となった。</p>	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。</li> <li>・適正価格に見合うよう運賃改定を実施予定。</li> </ul>	13,139,891	6,351,876	43.79%	60.53%

[記載要領]

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R5年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R4年度比 収入増減額	対R4年度比 費用増減額	R4年度 収支率	R5年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	14	新庄(東根・作並)仙台	新庄駅前	東根作並	仙台駅前	<p><b>【取組内容及び実施時期】</b></p> <p>①ダイヤ、路線の見直しを行い乗車効率及び利用者の利便性を上げていく。</p> <p>②利用促進のための施策を検討。</p> <p>③バス待ち環境の整備。</p> <p>④収益改善を目指す施策を検討。</p> <p>⑤交通系ICカード導入。(R4.5)利用者への周知と普及活動を行う。</p> <p><b>【実施主体】</b> 山交バス株</p> <p><b>【効果目標】</b> 定期券増収率2.0%増</p>	<p>①利用者の利便性向上を図り、新庄駅西口よりパーク&amp;ライド可能な東口へ乗降場所を変更。(R5.10)</p> <p>②仙台圏のお客様の取り込みを目的とした新たなパック商品ができないか検討している。</p> <p>③舟形町の協力によりバス待ち環境の改善として待合所が新設された。</p> <p>④適正価格に見合う運賃改定を実施した(R5.10)</p> <p>⑤山形県と協力して多子世帯を対象に交通系ICカードを配布。</p> <p><b>【取組効果】</b> 収入前年比 125.7% 目標達成となった。</p>	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。</li> <li>・適正価格に見合うよう運賃改定を実施予定。</li> </ul>	32,590,579	6,920,997	61.55%	74.86%

[記載要領]

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R5年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R4年度比 収入増減額	対R4年度比 費用増減額	R4年度 収支率	R5年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	15	県立病院～金山	県立病院前	泉田	金山	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①路線再編の検討</p> <p>②沿線沿いの学校に通う学生の利用促進。</p> <p>③交通系ICカード導入。(4.5)利用者への周知と普及活動を行う。</p> <p>【実施主体】 山交バス(株)・新庄市・金山町</p> <p>【効果目標】 増収率2.0%増</p>	<p>①R5.10月の県立病院移転およびR6.4月の東北農林専門職大学こう開設に伴う路線再編を山形県主催で最上地域別分科会を定期的に開催して経路変更を実施。(R5.10月・R6.4月)</p> <p>②新庄市と通学定期券補助制度を継続して実施した。通学の利便増進に向けたダイヤ作成のため、沿線市町村や運行営業所と利用状況、利用属性、利用ニーズについての情報交換を行った。</p> <p>③沿線地区で乗り方教室を実施。山形県と協力して多子世帯を対象に交通系ICカードを配布。</p> <p>【取組効果】 収入前年比 104.4% 目標達成となった。</p>	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通系ICカード利用拡大のための活動を行う。</li> <li>・適正価格に見合うよう運賃改定を実施予定。</li> </ul>	827,228	2,418,717	50.07%	49.11%

[記載要領]

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名 株式会社 新庄輸送サービス

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R5年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R4年度比 収入増減額	対R4年度比 費用増減額	R4年度 収支率	R5年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	16	県立病院～肘折線	県立病院	清水	肘折温泉待合所	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①貨客混載：スーパー等と連携した買い物代行サービスについて検討。(平成30年3月まで)</p> <p>②路線再編：新幹線到着時間に合わせたダイヤ改正(増便6⇒7便へ)(平成30年3月まで)</p> <p>③混乗化：本路線に対する村営スクールバスの接続改善(平成30年3月まで)</p> <p>④観光利用促進：日帰り温泉パック等の商品開発(平成30年3月まで)</p> <p>【実施主体】 株式会社 新庄輸送サービス(大蔵村)</p>	<p>【取組実績】</p> <p>①平成30年5月より実証実験実施したが商業ベースに至らず、但し需要あり輸送支援で継続中。R5年度(41件/年、3件/月)</p> <p>②平成29年4月より実施済み。</p> <p>③平成30年4月より実施済み。本幹線に接続する支線のダイヤを改正。</p> <p>④平成30年4月より肘折温泉-新庄間の往復券(8%引き)を作成し販売継続。R5年度(1,846枚、売上2,030千円/前年比30.5%)</p> <p>【取組効果】</p> <p>②、③、④の取組継続今年度は、新型コロナ禍利用者数、運賃収入、輸送量共に増となる。</p>	<p>【今後の方向性】 地元利用者(通勤・通学等)への増進アピールとコロナ禍戻りつつある観光客の乗合需要の掘り起こしを行う。</p>	655千円 (8.6%)	4,068千円 (10.0%)	18.60%	18.40%

[記載要領]

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。



地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R5年度)

協議会等名	事業者名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R4年度比 収入増減額	対R4年度比 費用増減額	R4年度 収支率	R5年度 収支率
							計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	有限会社はながさバス	17	銀山線	銀山温泉	尾花沢市役所	大石田駅	<b>【取組内容及び実施時期】</b> ①ホームページを改良し、時刻検索ができるようにし、利用者利便の向上を図る。(令和5年3月まで) ②観光利用促進:主に首都圏からの観光客の増加を目的としたPR活動(令和5年度中) <b>【実施主体】</b> ①(有)はながさバス	<b>【取組実績】</b> ①令和5年2月に当社HP改良を実施した。 ②車内に銀山温泉のポストカードを配置し、バスを利用した観光客を対象に配布を検討。予算の都合により実施出来なかった為、令和6年度へ持ち越し。 ③県外・国外へのPR活動(山梨県観光フェア参加)	<b>【今後の方向性】</b> インバウンド向け乗車混雑緩和の為の、日本語と英語及び中国語の利用客への案内広報を行う(R5・12～)	23,914	6,887	66.65%	90.30%

[記載要領]

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	庄内交通株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R5年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R4年度比 収入増減額	対R4年度比 費用増減額	R4年度 収支率	R5年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	19	鶴岡三川	エスマール	エスマール	イオンモール三川	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <p>①利用実績および地域需要に見合った路線形態の検討協議</p> <p>②『つるおか1日乗り放題券』、高齢者定期券『ゴールドパス』の拡販</p> <p>③高齢者利用促進のため、イベント開催や地域訪問による告知活動</p> <p>④路線別時刻表の作成及び設置配布(令和4年3月)</p> <p>⑤利便性向上のため『ICカード』の導入(令和4年5月)</p>	<p>【取組実績】</p> <p>①各自治体と問題提起を実施し、令和3年10月1日路線再編を実施。利用実態を調査し、再変更や今後の路線の在り方を継続協議。</p> <p>②③主要観光拠点や地域住民の拠点へチラシ等の配布。広報への掲載。販促イベントや地域ごとに訪問などにより、告知活動及び乗り方教室を実施。</p> <p>④エスマールバスターミナルや酒田庄交バスターミナル、鶴岡駅前へ設置し、路線ごとの時刻や経路を案内。</p> <p>⑤地域連携ICカード『shoko cherica』を導入。わかりやすい運賃表示、支払いの簡素化により、利便性の向上</p>	<p>【今後の方向性】</p> <p>バス利用者増を目指し周知活動を強化する。</p>	1,416,984	625,170	35.32%	39.07%
山形県地域公共交通活性化協議会	20	三川酒田	イオンモール三川	日本海病院・イオン酒田南店	ゆたか1丁目	<p>【実施主体】</p> <p>①庄内交通(株)、鶴岡市、酒田市、三川町</p> <p>②庄内交通(株)、鶴岡市</p> <p>③庄内交通(株)、鶴岡市</p> <p>④庄内交通(株)</p> <p>⑤庄内交通(株)</p> <p>【効果目標】</p> <p>②～⑤の取組により、利用者1.0%増を見込む。増収率1.0%増とする。</p>	<p>【取組効果】</p> <p>②～④について、つるおか1日乗り放題券 前年比 ▲455千円の減収(全社実績)</p> <p>高齢者定期券ゴールドパス 前年比 5,193千円の減収(全社実績)</p>		1,424,694	690,107	35.33%	39.07%
山形県地域公共交通活性化協議会	21	鶴岡(ゆぼか)いでは文化記念館	エスマール	ゆぼか・荒川	いでは文化記念館前				3,312,688	▲ 945,335	48.54%	58.22%

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。